

原発に頼らない社会を！ PartⅧ 可能な限りの地熱発電を！



火山数で言うならば、我が国は米国(160)、インドネシア(146)の次で119を数え、世界第3位です。また地熱の資源(賦存)量も同じく3位。

地熱発電を考えた場合、こうした日本の特性をフルに活用しなければ損ですね。言うまでもなく、他の自然エネルギーに比べて季節変動や昼夜変動は無く安定的で、かつ二酸化炭素の発生は極めて少ないのが、地熱です。

他方、これは地下を深く掘って調査を行うため、地盤が変化し地震や崖崩れが誘発され、周囲の温泉が枯渇し、地下水が汚染されるといった、環境への影響を危惧する声も聞かれます。

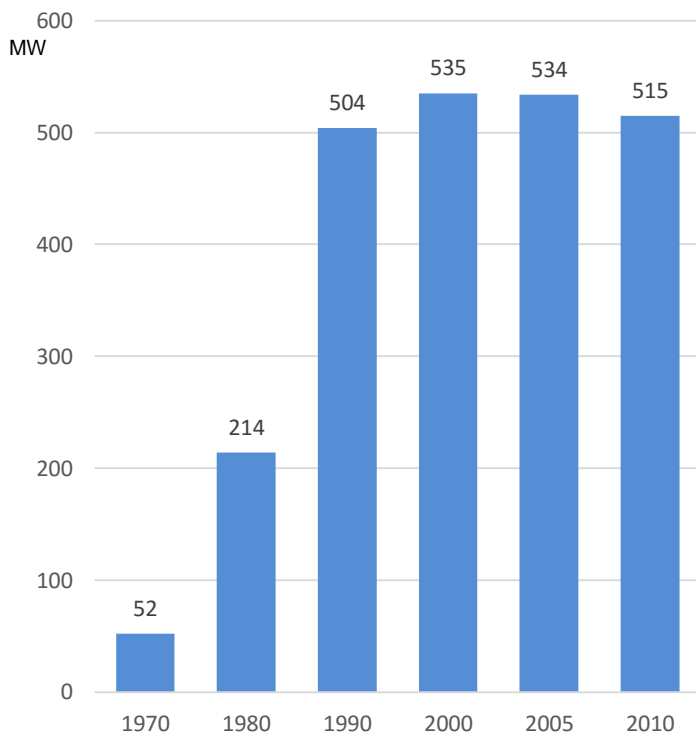
今や原発には、予想以上のリスクが存在することが分かりました。地熱エネルギーの開発に向けては、環境アセスメントの迅速化を図りつつ、また電気事業法上の安全規制の合理化を進めなければなりません。発電後の熱利用も視野に入れて、さらなるエネルギーの多段階的な利用も期待していきましょう。

【国別地熱資源量】

国名	活火山数	地熱資源量	地熱発電導 入量 (2010)
		[MW]	[MW]
米国	160	30,000	3,093
インドネシア	146	27,790	1,197
日本	119	23,470	536
フィリピン	47	6,000	1,904
メキシコ	39	6,000	958
アイスランド	33	5,800	575
ニュージーランド	20	3,650	628
イタリア	13	3,270	843

出典:活火山数、地熱資源量「パラダイム転換としての地熱開発推進」

【日本の地熱発電所認可出力の推移】



出典:再生可能エネルギー技術

今月の 水戸まさし応援団

無知と反省

公人と私人の線引きや国家戦略特区という特例、そして共謀罪の適用解釈などのニュース報道を見・聞きするにつけ、知らないことがあまりにも多いことに気付かされる。

今知らなくても済むことかもしれないし、当座は知る必要がないかもしれない。しかし、直接・間接的の違いこそあれ、近い将来我が身に振りかかってくるかもしれないと思っ、自問してはみるものの難しくて途中で疲れてしまい結局のところ成り行きに妥協してしまう己がなさけないと思っ。残念に思うことがもうひとつある。

国会審議がテレビ中継されるが、ワイドショー的になつていくとしか思えないし、その上政府側の答弁に都合の悪いことは全て拒否という姿勢がみられること。これは民進党の信頼回復が未だ成っていないとする自民党のオゴリの表れではないだろうか。

支持率の低迷をみるにつけその道のりは大変厳しいと思っが更なる水戸議員の活躍にエールを送り続けていきたいと思っ。

水戸応援団

Mチーム 益田 正廣

- ◆HP: <https://www.kickoff310.com/>
- ◆メール: kickoff310@yahoo.co.jp
- ◆Face Book: 「水戸将史」で検索
- ◆Twitter: @mito_kickoff
- ◆メルマガ: 登録はHPから

- ◆国会事務所
〒100-8982
東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第二議員会館601号室
TEL: 03-3508-7027 FAX: 03-3508-3827

- ◆地元事務所
〒245-0008
横浜市泉区弥生台26-6
TEL: 045-814-3001
FAX: 045-814-3007